調べる





話し合う

幸浦を想い、海や防潮堤の 利用について積極的に考察 するワークショップ、第三弾。

共有する







提案する

第1回「将来を見据えた防潮堤整備計画」

令和 2 年 8 月 23 日に浅羽体育センターにて、「袋井幸浦の丘プロジェクトワークショップ 2020」の第 1 回目が行われました。

昨年度に引き続き今年度も静岡文化芸術 大学の学生が運営を務め、よりパワーアッ プしたプロジェクトにしていく所存です。

今年度は「将来を見据えた防潮堤の施設整備計画」を地域の皆さんと一緒に考えていきます!

前半の活動では防潮堤の現地調査を行いました。防潮堤の現状を見ながらベンチや 展望台を設置したい場所や特徴的な場所などを探していただきました。

後半の活動では現地調査の結果を全体で 共有した上で施設の配置計画を考えまし た。各グループが防潮堤全体のバランスや 駐車場の位置、命山との関係などを意識し ながら提案していただきました。

今回出た意見をふまえて次回第二回では 施設のデザインについて検討していこうと 思います。 (令和 2 年 9 月 26 日)

次回 WS→10/25(日)9:00~

第2回では幸浦の丘防潮堤にふさわしい施設の デザインについて話し合います! ぜひご参加ください!!

※コロナ対策のため第2回、第3回は参加人数を制限しての開催となります。第1回で配布した名簿をご確認ください。

-- 現状の問題点 -----、

- 休憩できるスペースがない
- 均一な道で特徴がない

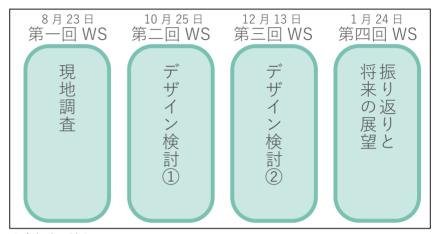
- 提案-

<u>目印となるような施設の</u> デザインを考える

メリット

- 場所ごとに特徴を持たせる
- 位置の把握がしやすい→防災上◎
- ▶ デザイン学生とのコラボ

▲提案



▲今年度の流れ

-ベンチー

- 花火が見える場所
- ・野球観戦が出来る場所
- ・計画エリアに均等に配置

展望台=

- ・野球場から登っていける場所
- ・駐車場の近く
- 松よりも大きいもの

案内板-

- ・利用頻度の高い遊歩道の入り口
- ・命山の位置や方角がわかるもの

あずまや

ウォーキングやサイクリングの 途中で休憩出来るもの

▲話し合い活動で出た主な意見

